
ボクノキセキ

Encore !



火山　アキト



キヨテルの小学校時代からの友達。
小・中・高・大学とも同じ学校で過ごす。

「キヨテルとは一生友達でいる！」

という信念の元、小学生時代の担任のすすめで
ギターをはじめる。
実家の「火山青果店」で
働きながらバンド活動をしている。

氷山　キヨテル



今回の「氷山キヨテル」はボーカロイドとは関係なく
公式設定内にあるアマチュアバンド
「アイスマウンテン」に
所属する新米教師という設定です。

少年期頃の記憶が不鮮明
教会に併設する施設に養父とともに生活をしていた。
教師になって学校の宿直室で一人生活をするようになった。

安土　トウマ

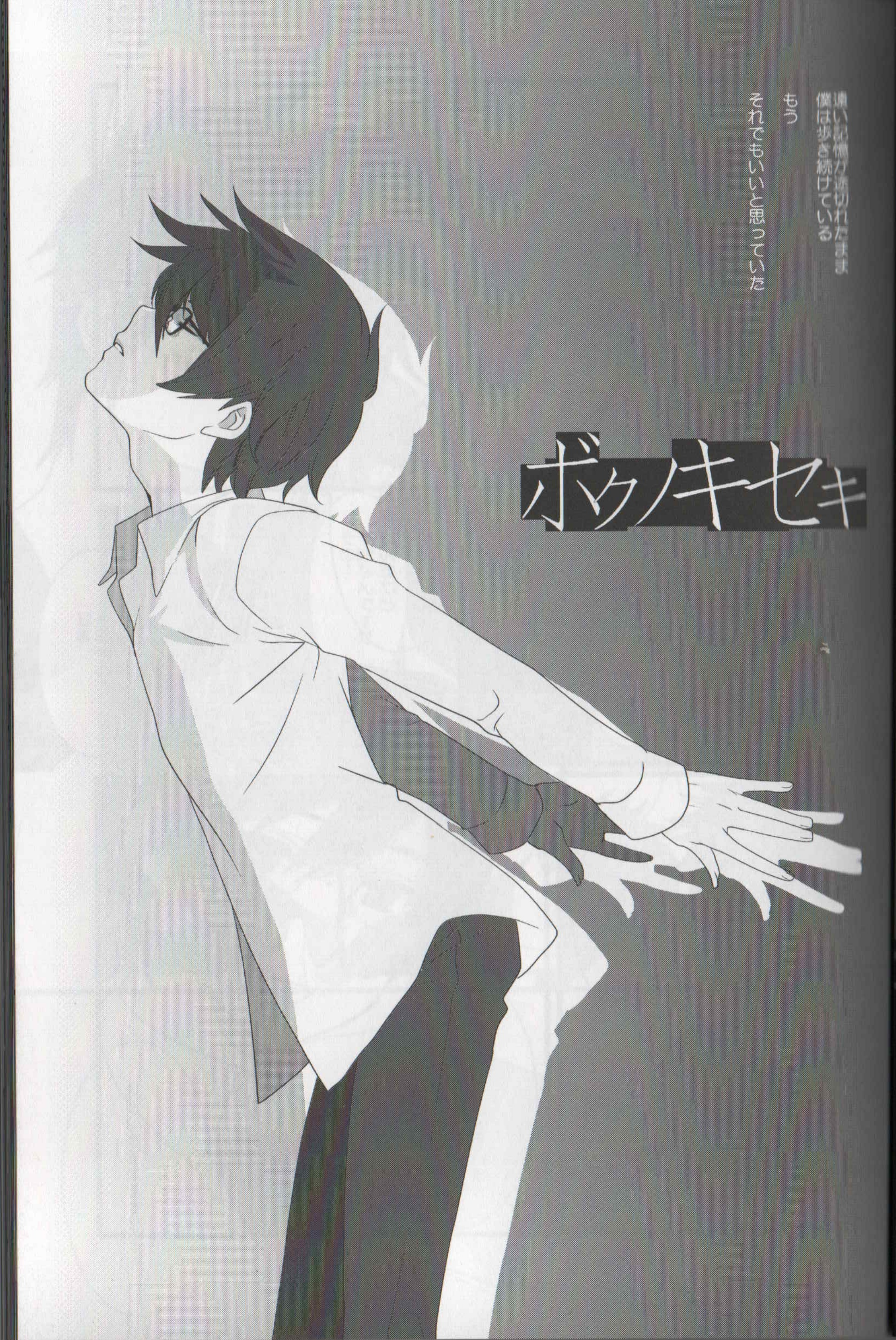
キヨテルと同じ学校の教師をしている先輩教師。
大学時代「安土桃色時代」のバンドのリーダーをしていた。
アキトはそのバンドの熱狂的ファンだった事を後に聞く。
その流れでベースを担当。
煙草と珈琲が手放せない、お酒大好き、不精、不摂生
理科準備室を私物化など不始末っぷり満載。
安土流剣術免許皆伝。
天音ハルトとは同僚にして道場の後輩。



帆風　ナツキ

大学でキヨテルとアキトに出会い、その流れで
ドラムをすることになった。
背格好が女の子のように可愛らしいが
喧嘩っ早く性格は男前。
祖母が営んでいる「ベーカリー帆風」を手伝いながら
パティシエの修行をしている。





天音　ハルト



資産家・天音家の長男。優理・愛理の兄。
ヨテルと同じ学校の音楽教師をしている。
でもこなすパーフェクション。まさに「王子」である。
等部の時代に安土流剣術道場で安土トウマに出会い
こから後トウマのフォロー役としていろいろと
労させられるはめになった。
の流れで空いているキーボードを担当。


なぁ キヨテル
新しい曲できたんだけど 見てくれるか?
ガサッ
…どう?
アキト君にしては 珍しいですね でもこれはこれで アキト君らしいと思います
うん たまにはな
違うジャンルも チャレンジしようかと
勝手に上がったよ キヨテル ちょっと キッチン貸して
うーす
いらっしゃい どうぞ
ちょっとコレ 切ってくるから
あ、トウマさん お疲れッス …ハルトさんは今日は…?
ハルトはちょっと 妹さん達の 御用があるって
遅れてくるから 先進めててくれってさ
じゃあ
早速なんですが その…
…ン?
これ… 今回ちょっと違った感じに 作ってみたんスけど
見ていただけますか…?


…そんじゃま
お手並み拝見しようか
うっわ…めっちゃ緊張してきた
一応力は尽くしたけど…
ふん…
…あの歌詞
あぁすれば良かったか…?
いやいや…でも…
なぁアキト


コード進行
手直しは少々必要だが
なかなかの出来だ
問題ない
だがな
何も伝わってこない
何も心に残らない
スカスカだ


じゃじゃーん♪
おいしいおいしい帆風のパウンドケーキ
ガララ…
あああああッ
しまった!
悪い ナツキ 俺帰るわ
?!
配達忘れてた
えっちょ… 今日のミーティングは?
アキト君っ
…ちぇっ 今日はアキトのも用意しといたのに…
ガラガラ… ピシャ
キヨテル…?
…アキト君…

ザッ
ザッ
あれ? 何で俺逃げんの?
はっ
スカスカだ
…!
くっそ…
キッ


優理 お友達への プレゼントは 決まったのかい？
や〜ん あれ欲しい〜
……
これは だいぶ 時間がかかりそうですね・・ 後でもう一度連絡を 入れるべきかな・・
アレもいいわー
これも〜
・・・あっ!!
愛理？
?!
あの・・
あそこに アキトさんが・・
愛理？
今日は彼は ミーティングで ここには・・
だって・・ あそこに・・・
あ！ ほんとだ！ 八百屋じゃん
どうしたのかしら・・ 元気がなさそう・・・
アキト・・


今からハイヤーを呼ぶからそれに乗ってひとまず帰りなさい
いいね?
お兄様ぁ?!
私達より八百屋の方が大事だって言うの?
優理
そんな悲しい事・・
あまり私を困らせないでくれ
・・・
わかったわ・・
すまない愛してるよ
アキト
ハルトさん・・
ミーティングはどうしました?リーダー
俺・・
ちょっと配達があって・・
この人ちょっと苦手だ
何もかもお見通しな感じで正直怖い
私にそんな嘘が通じるとでも思ったんですか?


そうだよ
逃げてきたんだよ
イライラする
クソだって言われて
辛かったから
何でも出来る
アンタにはまず
わかんないだろう
けどな
さんざボロクソ言われて
毎度毎度ヘラヘラして
られるかよ!!
ムカつく
俺だって頑張ってんだよ!
…そう
つまり
こういう事だ
?!


アキト
私にはコレを
読まなくてもわかる
そして…
主に粗末に
扱われた
君にとっても
これは
君は今ここの楽譜を
地面に投げつけた
…つまり
君にとってコレは
それまでの代物なんだ
未完成
「どうでもいい」
作品だ


どうでもいい作品なんて
無いと思います
確かに初めて挑戦する
ジャンル・・
足りない部分もあると
思いますが
キヨテル・・・
聴き手にとってはそれは
関係のないことなんだ
出来上がったものが
完成されていなければ
ただの習作に過ぎないし
演奏する人間も表現できない
練習だって
何でも必要な事でしょう？
キヨテル
例えばお前は学校の
発表会の時
不完全な物を発表して
生徒達が満足
できると思ってるのか？


それは・・・
その・・
満足しないと思います・・・
だろ？
・・・大丈夫
今回キツめに
言葉叩いたけど
アキトはその位じゃ挫けない
・・もし挫けたのなら
そこまでだ
ごめん
なんかミーティングに
なりそうにないし・・
帰ってもいいかな？
すくっ
すみません
おつかれー
ケーキご馳走さん



きょろ
きょろ
…詰んだ
そういや俺
アキトが行きそうな場所
あんまし知らなかった
五時か…
17:01
あ
ケータイで話せば
いいんじゃ…
…って
こんな話ケータイで
話すのもな…
蝶？
くる
くるっ
ん…？
…なんか…
ざっ
たたたっ
あっ
行っちゃった…
…！
はっ
はっ
あき…と…


ありがとう
お疲れ様
さぁ
彼らの物語を
拝見しようじゃないか


あ・き・と・君
あっれー？
配達行ったんじゃ
ないの？
どきっ
ななな・・ナツキ・・・
スマン・・その・・
・・なんて
わかってるよ
芝居ヘタ
もっとマシなやり方
あるだろ
・・・俺もさ
高みを目指すために
我武者羅になって
見失う事がある
堪えるよな
アキトと同じような事
言われた事あるんだ
自信が付いてきた頃
だったから尚更辛かった
俺もその時
何故そう言われたのか
わからなかった
俺がパティシエの
修行して
だいぶ慣れてきた頃
できました


おばあちゃんに試食してもらう時はいつも緊張しちゃって
上手く作ろうと一生懸命だった
ある日
ナッキ
アンタは何のためにこうやってお菓子を作ってるんだい
うちを継ぐためだけなら
パティシエ目指す事なんて辞めちまいな
今のアンタのお菓子は甘いだけだよ
悔しかった
でも「家を継ぐ」という事が一番に頭をよぎって
当たってて尚更悔しかった
目標を見失ってた事に気づいて
これからどうしたらいいか もう辞めてしまおうかとか 本気で悩んだよ


それで・・・見つかったのか?
ぎゅっ
俺もだ・・・
答え
何のためにお菓子作るのか・・・
上手く作ろうとしてるだけだった
うん
俺のやりたい事・・・何だっけ・・・
見つけた!
何だっけ・・・
そうか・・よかったな
ゴンッ
アキト
ぽすっ
ほい お前の分
え?
すくっ
帰るわ
今日の差し入れのヤツ超美味いから食えよ!
たったったっ
さんきゅ・・・
かさっ


カサッ
…うまい
ぱくっ


ガンバレ
アキト。
負けんな!
なつき
うめぇ
半端ねぇ
ずずっ
泣けてくるわ


さささ・・寒い・・手袋してくるんだった・・
あ、アキト君！
へ？
キヨテル・・なんで？


おい！キヨテル何つっ立って・・
うっわ！冷たッ!!どんだけ・・・
昼間の件なら大丈夫だから早く帰れよ
もう全然堪えてねーし
嘘だ！
アキト君はいつもそうやって僕に心配をかけない様にしてるけど
どれだけ一緒に居るかわかってるんですか？
それは逆に僕のことを信頼してないって取れます
・・俺さもう・・なんで音楽やってんのかわかんなくてさ・・・
キヨテル・・
自分の居場所守るのに必死でさ
なんか・・疲れてきたってゆーか・・
音楽やめたらお前の近くに居られなくなる気がして
それなら・・僕がその居場所を守るから


僕が
初めて会った時
君が僕にして
くれたように
アキト君がここから
居なくなっても
必ず探し出すから
今度は僕が
いいか？
何かあったら
絶対守ってやるからな
僕が君を守るよ
…キヨテル…っ！


ずれた・・か
ぐらっ
鈍ったな・・
ちょっと腕が鈍ったんじゃ
ないですか？
安土先輩


だいたい
練習サボり過ぎなんですよ貴方は
だって俺忙しい人だから〜
……
はぁ…
…先ほどアキトに会いましたよ
あーちょっとだけ説教したら飛んでった
何だろうこの根拠のない自信…
大丈夫だろ
それよりホイ
すいっ


久々にやろうや
6戦0勝6敗今なら俺から「初白星」取れるんじゃね？
チャ
いいんですか？
ピクッ
後で後悔しないでください？
する、
そうこなくちゃ♪
それでは
参ります


安土流剣術免許皆伝
やはり伊達ではない
くっ…
ハルト
肩に力入りすぎ
流すようにかわされる
この私が
ならば
この不始末に敵わぬなど
!
アッ


…っ
ほい
俺の勝ちー


まだまだ負けんよ
「精進せい!」
・・なんてな
ありがとう
ございました・・
でもハルト
前やった時より
だいぶ上達してんな
ちょっと焦った
あと・・・
はるちゃぁぁん
おなかすいたぁぁぁ
ご飯奢ってぇぇ
ちょ・・
また給料
使い込んだん
ですか?!
だぁってぇぇ
ほしいものが
あったんだもーん
やはり・・
「不始末」は
「不始末」だった・・・
はっ

あれから数日が経ちました
氷山先生
はい
なんですか?
アキトさん
何かあったんでしょうか・・
最近様子がおかしくて
寝不足みたいで
昨日も眠そうに
お仕事してたんで・・
アキト君・・
頑張ってるんですね
・・そうですか

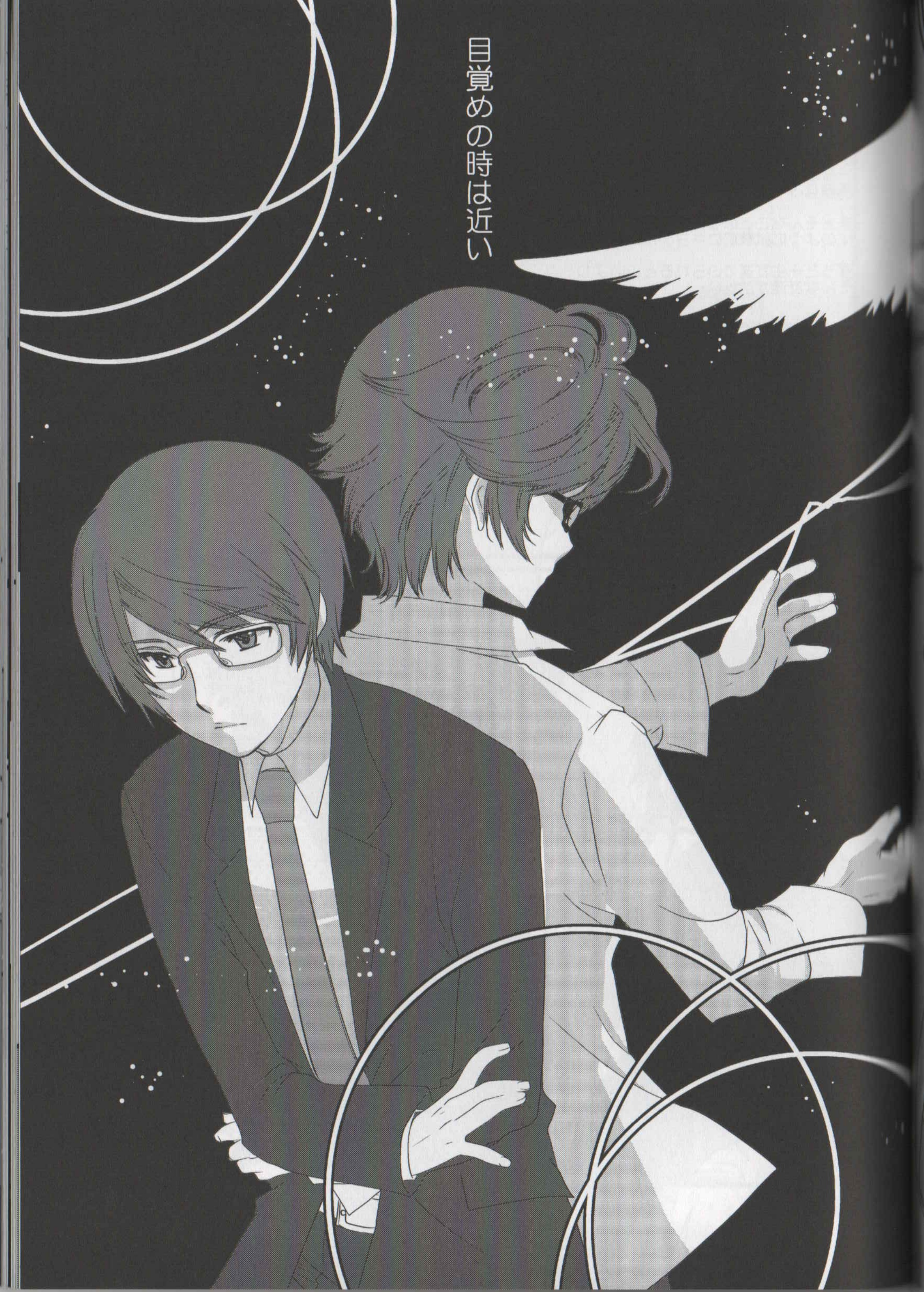


火山さんは今
自分と戦っています
何故・・・
これからのことを
ずっと見据えて
目を逸らさず
それは大人でも大変で
目標を見失って
行く先を間違っていた
事に気がついて
今一生懸命
そこから軌道修正
しようと
頑張ってます
逃げたくなる
音楽って楽しい
ああ・・
大丈夫
火山さんは絶対に
帰って来ます
応援してあげてください
そうだった・・・
ふ・・



大丈夫
アキト君なら
・・・・
出る幕はなさそうだな・・
ふ


もうすぐですね
待っていてください
あと少し・・・


目覚めの時は近い



勝手に妄想のぺーじ

高校時代のアキトとキヨテル

アキトとキヨテルが同じ大学に入れるって事は
アキトはそれなりに頭(教養)があるってことじゃね?
一夜漬けだったとしてもﾊﾟﾈｪ
馬鹿なふりしてるのかと思ったらすごく泣けてきたっていう。

まぁそんなことはないかなあるかなと思いつつ
↓のように試験前にキヨテルに猛特訓受けながら登下校してるとｶﾜｲｲﾖﾈみたいな←

ずっと一生友達でいられるといいよね
そんな友達が欲しい←




放課後とはいえあまり感心しませんよ
煙草に珈琲・・・
廊下に匂いが漂ってますよ 学校にはふさわしくない臭いだと思いますが 安土先生？
安土先生の珈琲とってもおいしいですよ！
だろー？ハルちんも一杯どうよ
結構です
氷山先生 今度の合同ライブですが
しかたありませんわね また この私達が じきじきに プロデュースいたしますわ
また妹が・・・
優理さん・・・
積極的ですね いい事です
あは・・・


まぁまぁ これでも飲みねぇ
この前ご飯奢ってくれたお礼に
はぁ？
要らないって言ったじゃないですか！
こんな不衛生な・・・
う・・ 意外といい香り
ふわり
ちらっ
どうよ？
・・・
・・・悪くは無いです
だろー？今回のは最高の出来なんだよねぇ♪


マジっすか?!
トウマさん冗談言ってないですよね??
マジマジー
頼んますよリーダー
ちょw
スゲー！マジかー!!
酒買ってきます！
飲みましょう！
ツマミもな…って あー、行っちゃったわ
はははっ
明日も仕事ですよ？どれだけ飲むつもりなんですか先輩
…ナツキさん？
…？


ナツキさん
アキト君のあの様子だとお酒だけしか買って来そうにないから何か作りましょう
あ、うん
カチャン…
ガタ…
どうしたんですか？合同ライブの件
……！
不都合な事でも…
べつに…
あのさ
俺・・そのライブで
バンド・・・辞めるから・・・


パティシエの修行で海外に行くんだ・・
あぁ・・・でも・・今回も出ない方がいいのかな・・
元に戻るだけさ出会う前の一人に・・・
準備とか手続きとかでばたばたして練習まともに出られるかどうか・・・
足引っ張っちゃうだろ？
このままフェードアウトするのは申し訳ないから今日皆に言おうと思ってたんだタイミング悪・・・
俺もいつ修行から帰ってこれるかわかんないしさ・・・
おかしいな・・・
どうして こんなに・・辛い
また新しい奴見つけてライブ成功させてくれよ
アイスマウンテンのドラムは帆風ナツキです
代わりなど居ません
きっと皆同じ事を言うと思いますよもちろんアキト君も・・・
ナツキさん
俺はアイスマウンテンのドラム・・・
どれだけ練習できるかわかりませんがウチのドラムはナツキさんしか居ないんです
頑張ってみていただけませんか・・・？
俺は・・・


俺・・
やりたい・・バンドやりたい・・・！
よかった
頑張りましょう！
絶対・・っ
戻ってくるから・・・！
待ってますよ
僕たちの「アイスマウンテン」は終わらない、
僕たちは仲間ですから


いつもと変わらない
この光景が
いつまでも
続きますように


……♪
……♪
……♪
……♪
……
氷山先生
もうそろそろ教室閉めませんか?
あ・・すみません ちょっと練習してたら・・ もうそんな時間ですか

……
・・もう 時は来たのかも しれませんね
え・・・?
貴方の中に閉ざされている魂を 救ってあげてください
貴方の失っている 記憶・・・
閉ざされた・・ 魂・・・?
片割になる魂が 抱え込んでいます
貴方にしか できません
どうか


いいですか？
貴方は仲間に護られている
彼らは貴方を
裏切らない
それは忘れないで
ください
何があっても
あちら側に
引き込まれては
なりません
天音先せ…
今片割の魂への道を
開きます
本来の姿をここに
映しましょう
見えますか？
それが貴方の記憶
怖い
怖い
…必ず帰ってきなさい
怖いですか？
目を逸らしてはいけません
これは現実なのです
焼ける教会…
倒れる子供たち…
貴方の見てきた記憶
なのです
僕はここで
ここで…
今一番近くまで
貴方の片割がいます
神は貴方に
慈悲と憐れみを
くださった
無駄にしては
なりません
あ…
あぁ…あ…


わああああ
さぁ
目覚めなさい



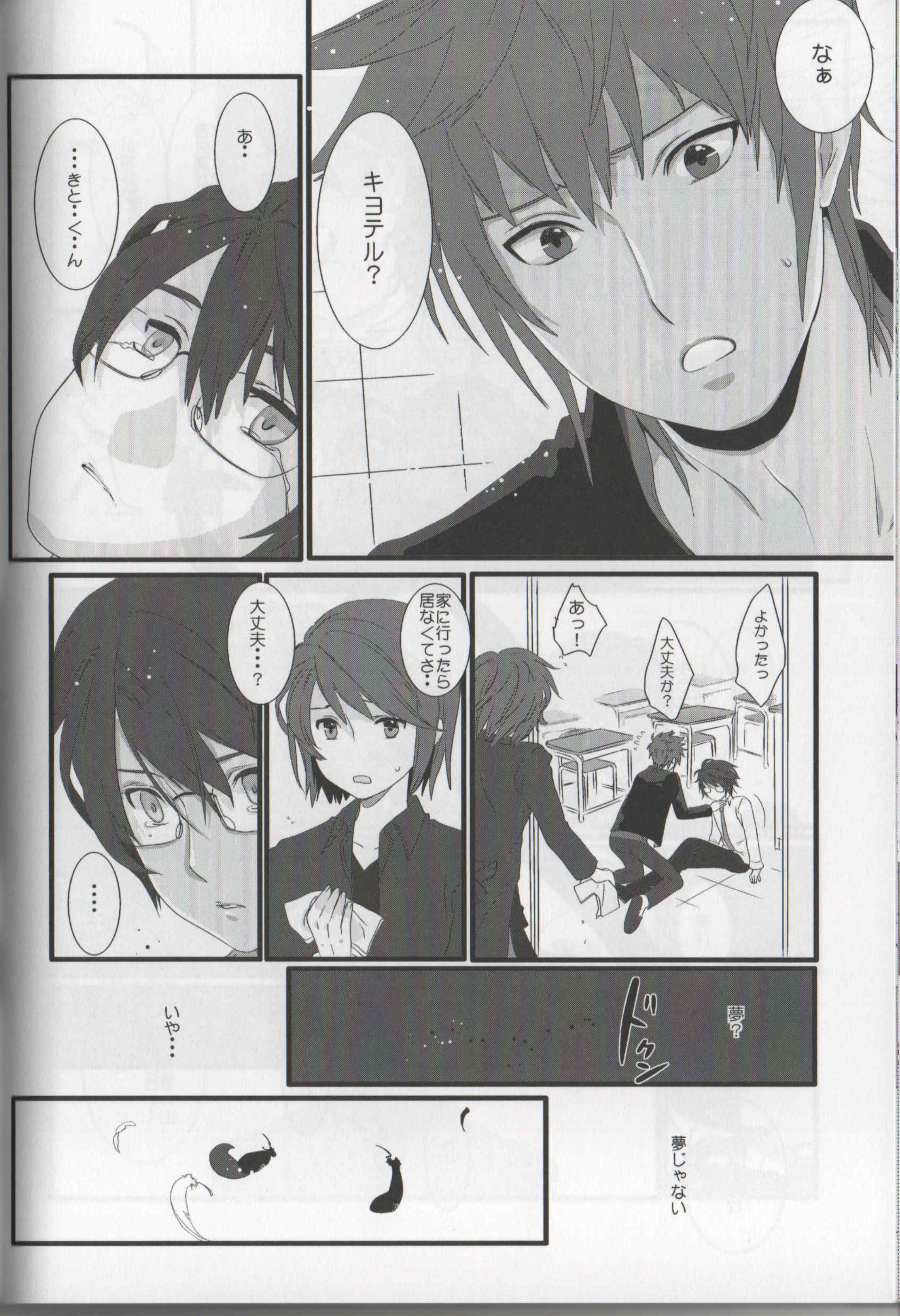

誰・・・?
あ・・あ・・ぁ・・・ああ・・・
貴方は・・・
嘘だっ!!
そんな・・・
ありえない・・・?



認めろ
これが現実
・・
見たものが全てだ
・・・君は？
私は君だ
私は
神が切り離した
君の「罪」に
喰われ続けている
帰れ
私を取り込んだ
ところで
何にもならない
つらい過去を思い出し
自分を責めるだけ・・
つらいのは
私だけでいい



・・・違う
君は僕だ！
なのに君だけ
苦しんでいる
僕はそれが
つらい
後悔するぞ
大事な物を
失うかも
しれないぞ
大丈夫・・・
大丈夫・・・
・・・る
おい
キヨテル!?

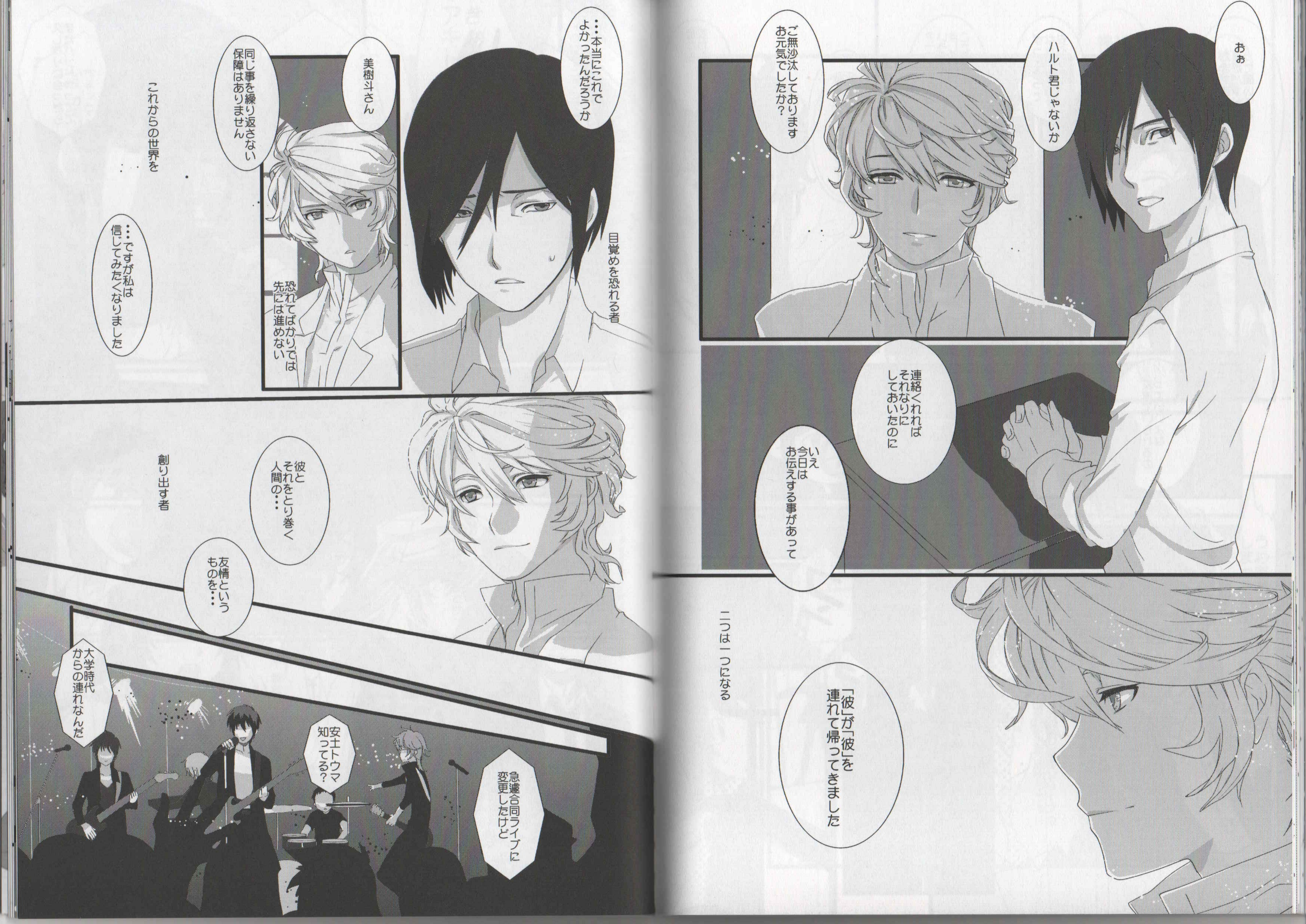

なぁ
キヨテル？
あ・・
・・・きと・く・・・ん
よかったっ
大丈夫か？
あっ！
家に行ったら居なくてさ・・
大丈夫・・・？
・・・・
夢？
ドクン
・・・・・・・・
いや・・・
夢じゃない

『後悔するぞ』
大丈夫・・・です
話せば皆が僕から離れてしまうかもしれない
いや・・・
僕は信じる
大丈夫


開いてる？
あ、トウマさん来てるよ？
これ…ハルトさんの？…じゃないような…
ひょこ
おっかえり☆ 遅かったじゃない
氷山センセ 勝手に上がってごめんね 寒くて入っちった
…あ 貴方は
安土桃色時代の
はじめまして お邪魔してます
織田さんっスか?!
上から押さえつけんな！馬鹿!!
あのボコられてるのがリーダー
キレてるのがドラム
止めに入ってるのがボーカルね
あははははは
イイねぇ！
こういう楽しい奴らと一緒なん？ウラヤマシー
だろー？
ちょっと大学時代のモモイロ思い出すだろ？


アキト君だよね？
合同ライブいっしょに盛り上がろうな
すっ
あ…
ドキドキ
よろしくお願いします…！
ぎゅっ
…ん？
うわあああああしまったあああああああぁぁぁぁ!!
伝説の勇者シリーズの再放送見逃すぅぅ!!
でんせつのゆうしゃ？
タッ
ごめんトウマまた今度な！
あれって…子供向けアニメの事…？
ポカーーン


昔から変わんねぇなぁ
根っからのアニヲタだもんなー
アニメ好きっていうのは知ってましたけどここまでとは…w
ずっと会ってなかったけど安心した！
たまたま連絡入れたらまだバンドやってるって聞いてさ
にぱ
離れてても時間が経っても
友達でいられるのっていいよな
コン
コン
こんばんは美樹斗さん


おぉ
ハルト君じゃないか
ご無沙汰しております
お元気でしたか？
連絡くれれば
それなりに
しておいたのに
いえ
今日は
お伝えする事があって
二つは一つになる
「彼」が「彼」を
連れて帰ってきました
目覚めを恐れる者
…本当にこれで
よかったんだろうか
美樹斗さん
同じ事を繰り返さない
保障はありません
恐れてばかりでは
先には進めない
これからの世界を
…ですが私は
信じてみたくなりました
創り出す者
彼と
それをとり巻く
人間の…
友情という
ものを…
急遽合同ライブに
変更したけど
安土トウマ
知ってる？
大学時代
からの連れなんだ


久しぶりに会ったらまたバンドやってて
嬉しかった
また一緒にやりたいって思って今日、合同ライブにしようって急遽決めたんだ
紹介します!
アイスマウンテン

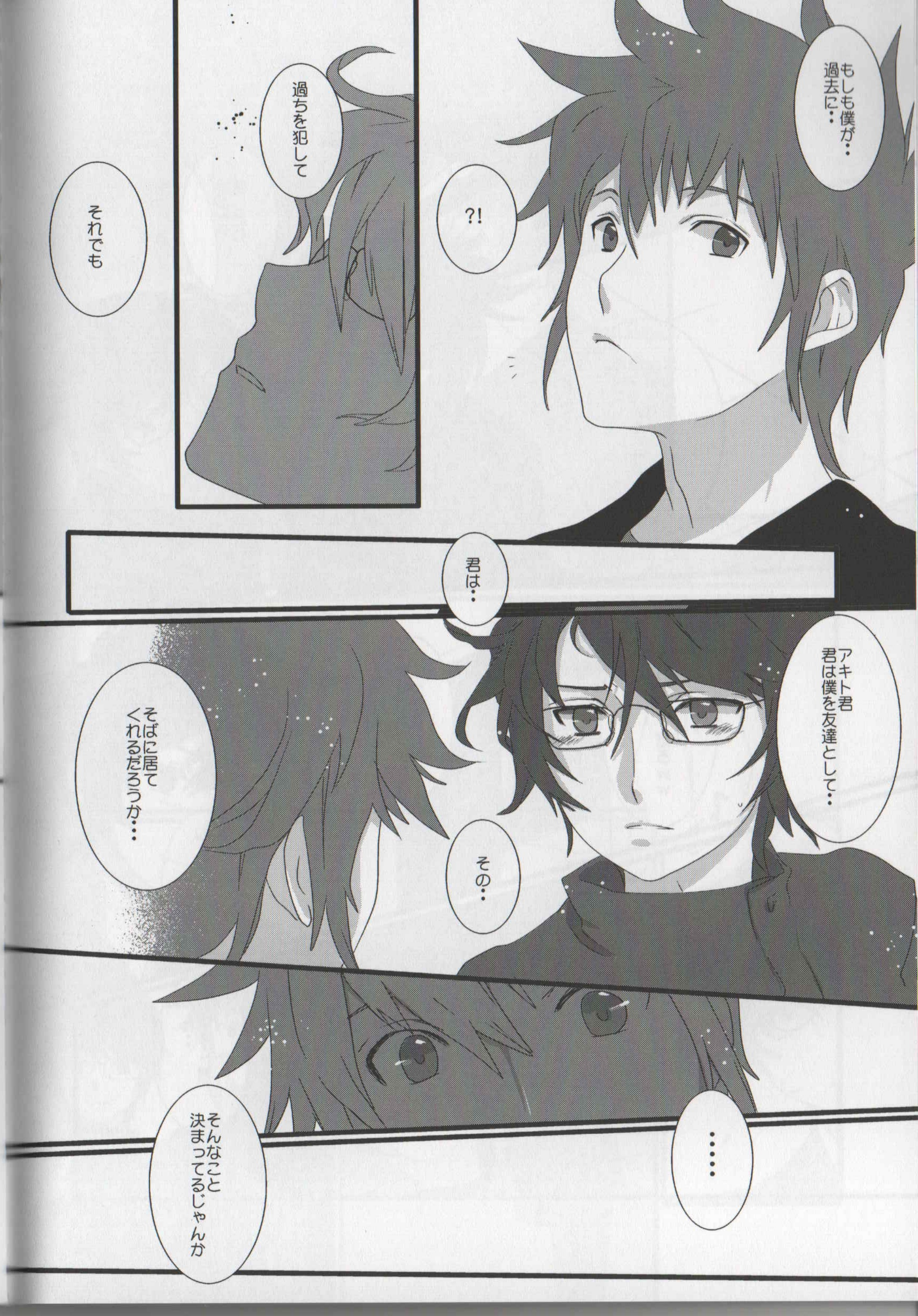

こんばんは、初めましてアイスマウンテンです
きゃぁ! アキトさーん!!
こんなに大勢の中でやるのは初めてで
ちょっと… いえ、かなり緊張してます
歌はお好きですか?
今日は僕たちだけではなく
皆さんと一緒に
音楽と歌を
楽しんでください


え??
これは・・・?!
うそ・・


天使・・なの・・?


そして
ナツキ君は
本格的に夢を追うため
旅立つ事になりました
見送り
ありがとう
向こう着いたら早めに
ネット繋ぐから
練習も向こうで
できるだけやっとく
ポーン♪
あ、やば
じゃあ
詳細は連絡するよ
またね
いってらっしゃい
風邪引くなー


行っちゃい
ましたね
あいつ
帰ってきたらまた
一回りでかくなって
来るんだろうなー
背まで大きく
なったり？
それはねーだろｗｗ
ね・・
アキト君
んー？


もしも僕が・・
過去に・・
過ちを犯して
?!
それでも
君は・・
アキト君
君は僕を友達として・・
そばに居て
くれるだろうか・・・
その・・
・・・・
そんなこと
決まってるじゃんか


過ちは
繰り返さなければいい
償うのは生きてれば
いつかできる
そんな事より
俺はキヨテルが
大事で
何があっても
一生友達でいるって
決めた
・・・・あ
今初めて僕の中の「彼」が
笑った気がした
ありがとう・・・

おわり

ボクノキセキ



紡がれたはずの糸を手繰り
切れた糸の先を探して歩いた
見つけた糸繋がれた先には
「絶望」で僕は目を逸らした

燃えるような赤
広がる朱色
無残に転がる
無数の人

手を伸ばし叫び続けた
届かない僕の唱声
引寄せた糸を鎖に
戒めを今焼き付けて

飛べない羽根曳き擦り彷徨った
闇の中で独り佇んでる君
独りでその苦しみを抱えて
「忘れなよ」と僕の手を掃った

底から広がる
亡者の群れに
引きずられのまれて
君が消えてゆく

闇の中消えてゆく君
叫んでも届かない声
消えてゆく君を見つめて
闇の中手を差伸べた

嗚呼

引寄せた糸を一つに
繋ぎ止め重なる鼓動
戻らない過去に祈りを
僕はまた歩き続けた

※この曲は後編のキヨテルが自分の中の
もう一人の「彼」との出会いとやり取りを書いてみました。

ニコニコ動画ID: sm17928237

泣き虫エスケーパー

「馬鹿だな」って言われてさ
いつもヘラヘラ 笑ってても
仮面の下に 流れてる
雫が僕に鍵をかけて

「心」の裏で刺さる棘
進む足をも 貫いてても
求めた光 ツカむまで
何度刺さったとしても

憧れた光が眩し過ぎて
目を逸らした時に消えていた

サガシテ サガシテ 見つからなくても探して
泣き出して 絶望して ナミダ流して また

サガシテ サガシテ 見つけたその光
掴んでみた時「チガウモノ」に変わった

カラ ノ ハコ ヒトカケ ノ
「ミエ」ヲ タタキ ツブシタ

闘って 敗北して 休んだら 闘って
動けなくて 寝そべっても 時は過ぎてゆく だけ

「孤独」「絶望」取り残され 消えゆく

サガシテ サガシテ キエタ ボク ヲ サガシテ

サガシテ サガシテ

サガシテ サガシテ

探して 捜して

掴んだ その手を 僕は握りしめてた

出口見えない 闇の中
四方八方 塞がれたまま
上で押されて モガイテモ
誰にも声は届かない

求めた光 遠のいて
追いかける足 ヌカルンデキテ
伸ばした右手 空を掻き
また光は遠ざかる

ユビを指し定めた目的地に
辿り着く事さえ叶わない

転がって 傷ついて 立ち上がって 走って
噛み付いて 歯向かって ハね飛ばされても また

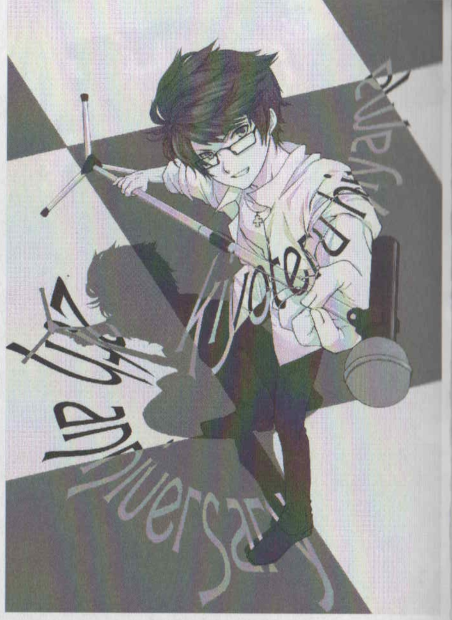
打つかって 擦り剥いて そこから血を流して
目指した光に 届くその時まで

※この曲はこの漫画の前編のアキトのイメージで
書きました。追いかけているようで逃げている。
そんなもどかしい心境を描いてみました。

ニコニコ動画ID: sm18318325







今まで描いたアイスマウンテンで
個人的に気に入っている物を選んでみました。
pixivに掲載しているので
もしよろしければ見てやっていただけると
幸いです。
http://www.pixiv.net/member.php?id=117817



















数年後の年少組



勝手に妄想のぺーじ

パティシエの修行から帰ってきたナツキ
メンバーはナツキの成長ぶりに驚く

そしてかげながら練習してたドラムの技術もハンパなかった
アキトはそんなナツキを良い意味でライバル視してどんどん成長していく

キヨテルは新しいPTA役員に目をつけられ悩みつつ
バンド活動を続けていくうちに心身ともにガタがきて中に居るもう一人のキヨテル(黒羽)に侵食をされていく
黒羽は何の目的でキヨテル(白羽)に成り代わっているのか

…っていうお話。誰かはよう

